

## 2023 年度国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査(改訂第 4 版)講習会

(アーカイブ+ライブ) 報告

日時: 2023 年 7 月 22 日(土)~8 月 26 日(土)

場所: 中小企業会館(東京都中央区)会議室よりライブ講義配信・オンデマンド方式

2023 年度の国リハ式<S-S 法>言語発達遅滞検査講習会は、2022 年度に開催した講習会のプログラム(一部編集)をオンデマンドで視聴し、ライブ講義を受講する形で開催しました。言語聴覚士、教員、保育士、児童指導員、公認心理師等、あわせて 80 名の方の申し込みがありました。オンライン研修の参加しやすさもあって、4 割は関東地方、6 割は北海道、東北から中国・四国、九州地方にかけての地域からのご参加でした。講習会の内容は講義と実習で構成され、最後のライブ講義で、評価と働きかけについてまとめ、質疑応答を行いました。



オンデマンド講義では、VTR を見ながら記録と評価のまとめの記入実習を行い、また評価から働きかけの経過について、実際の事例に沿った説明がありました。

受講者が学習過程で生じた質問を web 上で投稿し、担当講師がメール配信とライブ講義の質疑応答コーナーで回答しました。

参加において地理的制約がなく、受講者の都合の良い時間や場所で学習できるオンデマンド型の長所を活かし、ライブ講義や質問フィードバックによって双方向性を補う講習会でした。以下に参加者の声を載せます。



ライブ講義の様子(上・下とも)

<参加者の声>

- 事前に講習会の内容が把握でき、空いた時間に視聴することができました。 解釈に時間がかかる評価・分析・課題の立案に関して、繰り返し視聴できて良かったです。
- 質疑応答の時間が非常に充実したものとなりました。 Google フォーム、チャット、当日の口頭質問など、複数での質問手段があったことも良かったと思います。
- 最後に1回ある双方向の講義の存在が、オンデマンド講義の動画を見る上での適度な緊張感につながりました。また、オンデマンド形式のおかげで今回受講できましたので、数年に一度でも構いませんので、今後の講習会でもオンデマンド形式の機会があるとありがたいと思います。
- 先生方が実際に行われていることや、ご経験など貴重なお話をお伺いできて嬉しかったです。 個人的なことですが、私はまだ子どもが小さいこともあり実地開催ですと参加できなかつたと思います。オンラインで講義していただき、ありがとうございました。
- 相談内容として、音声発信がない=ことばの遅れとして考えられていることが多いなと感じている。しかし、そもそも音声言語での理解ができていないこともあるため、事物等を使って評価ができることで、より詳しく子どもの状態を知ることができ、保護者さんや関係者に伝えていくことができると思う。検査を通して、今何がその子どもにとって必要なのかを考えていきたいと思いました。